

# 「地域のつどい」が開催されました

(第17期3回目 菅田地区)

開催日：平成25年3月3日(日)

場 所：菅田東町自治会館

参加者：71名



第17期神奈川区民協議会3回目の「地域のつどい」が菅田地区で開催されました。菅田地区は、神奈川区北西部に位置し、港北区と緑区、保土ヶ谷区に隣接しています。また、区内最大の面積を有し、10自治会があります。近年市街化が進んできていますが、神奈川区の中では農業が盛んで、キャベツ畑などが広がり、緑あふれる地域でもあります。さらに、富士塚や道祖神など歴史的なものも点在しています。会場の菅田東町自治会館は、もともと寺子屋であり、明治の学制発布で菅田学舎となったその跡地に建ち、平成20年に改築され、とても明るい雰囲気のある会場でした。

当日の参加者からは、防災や高齢化、交通に対する問題など多岐にわたるご意見をいただきましたので、その一部をご紹介します。



- ①居住団地の広域避難場所の対応策について
- ②液状化や土砂崩れの対策について
- ③津波避難者の受け入れに対する地元側の対応について
- ④自主防災マニュアルの作成・運用方法の問題
- ⑤高齢化に伴う空家や自治会活動の人手不足問題
- ⑥高齢化による孤独死対策や見守り体制の問題

⑦通学路や歩道の安全確保の問題

⑧学校選択制による自治会・子ども会の運営の問題

また、試行運行されている市営バス2路線へのさらなる利用呼びかけや交通局への要請にも力を入れ、本運行に向けて足の確保に努めていることが報告されました。

菅田地区のみなさまには、会場準備にも大勢の方々にご協力いただきまして、ありがとうございました。